

チャペルだより

新旧の調和

フランス19世紀の作曲家にベルリオーズがいます。彼の代表作で、よく知られた曲の一つに「幻想交響曲」があります。彼自身の失恋経験によって彼が見た幻想を5つの楽章にまとめた交響曲です。曲の内容は置いておきまして、わたしが印象的だったのは、ビデオで観たあるオーケストラによる当時の管楽器を用いた演奏です。ベルリオーズの活躍した19世紀の初めは、管楽器の過渡期でした。それまでの管楽器に改良がなされ、現代の楽器により近づいた時期でもありました。そこで彼は、自分の作品の中に、新たに改良された楽器を用いたわけで、その当時の楽器（オリジナルもあれば複製

もある）を用いての演奏を、このオーケストラは試みているのです。その映像を観て興味を惹かれたのは、改良された新しい楽器に交じって、従来の古い楽器も使われているという点です。新楽器と古楽器が見事に調和していることに、わたしはとても魅力を感じました。そして、これはオーケストラだけのことではなく、この世界、社会、そして人生についても通じるものがあるような気がいたしました。

世の中には、古いものから新しいものへと移る時があります。過渡期と言われる時期です。通常は、一時的な橋渡しの期間と言われていますから、古いものから新しいものに入れ替われば、古いものの用はなくなってしまうのです。ですが、わたしは、この過渡期に何か特別な魅力を感じてしまいました。変な話、この新旧共存の状態がいつまでも続いて欲しいとさえ思ってしまうのです。それは、新しいものの誕生によって、

古いものは必ずしもすぐにはその魅力はなくなってしまうことはないからだと思います。古いものには、長い年月で培われた良さがあります。また愛着もあります。そうしたものを大切にしながら、急激にはなく、徐々に新しいものを加えつつ、しばらく新旧の共存を楽しみながらゆっくりと時が流れて行く。わたしは、そんな状態が好きです。

立教新座キャンパスにも、少しずつ新しい施設が誕生していています。いつかは、ほとんどの施設が新しくなるのかもしれませんが、それでも、しばらくは古い施設との共存の状態が続くはずですが、一見、不釣り合いのようにも見えますが、実は、そこには調和があるとわたしは思います。新旧が入り交じるこの魅力あるキャンパスで、学校生活を楽しみましよう。

(チャプレン 西海雅彦)

行事予定～中学校～

5/6(木)	授業公開 (在校生保護者対象)
7(金)	創立記念礼拝、生徒総会
8(土)	授業公開
10(月)	中3校外研修旅行 (～14)
11(火)	中2校外学習 (理社)
14(金)	中2校外学習 (理社)
15(土)	中3自宅学習
25(火)	中間試験 (～26)
6/3(木)	朝霞地区大会 (～4)
8(火)	朝霞地区大会
14(月)	中1理科校外学習
15(火)	中2校外研修
7/3(土)	期末試験 (～6)
7(水)	中1美術特別授業
8(木)	スポーツ大会
14(水)	音楽鑑賞会
20(火)	終業礼拝、保護者学級会

行事予定～高校～

5/6(木)	授業公開
7(金)	創立記念礼拝、生徒総会
8(土)	授業公開
10(月)	高2校外研修旅行 (～14)
15(土)	高2自宅学習
25(火)	中間試験 (～26)
7/3(土)	期末試験 (～8)
9(金)	体育祭、高1・2人権学習 (～12)
20(火)	終業式

卒業生の進路について

2010年3月に卒業をした高校生は、318名。そのうち立教大学に推薦で進学した者は、253名でした。また、センター試験は47名が受験をし、以下の大学に合格いたしました。今年の卒業生も多様な進路に進学をしました。

立教大学推薦者数

学部	学科	人数
文	キリスト教	0
	史	3
	教育	9
	英米文学	2
	フランス文学	0
	ドイツ文学	1
	日本文学	3
	文芸・思想	6
	計	24
	経済	経済
会計ファイナンス		14
経済政策		14
計		54
理	数	2
	物理	3
	化	5
	生命理	1
	計	11
社会	社会	13
	現代文化	13
	メディア社会	13
	計	39
法	法	30
	政治	10
	国際ビジネス法	10
	計	50
観光	観光	12
	交流文化	0
	計	12
	コミュニティ福祉	福祉
コミュニティ政策		1
スポーツウエルネス		2
計		4
経営	経営	20
	国際経営	13
	計	33
現代心理	心理	12
	映像身体	5
	計	17
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	9
合 計		253

卒業生総数318名

2010年度大学合格者数

	総計	現役	
国公立	埼玉大学	1	1
	千葉大学	1	1
	東京医科歯科大学	1	1
	東京工業大学	1	1
	東京大学	4	3
	東北大学	2	1
	一橋大学	2	2
	名古屋市立大学	1	1
	青山学院大学	1	1
	岩手医科大学	1	-
	学習院大学	4	3
	金沢医科大学	1	-
	北里大学	1	1
	杏林大学	1	-
私立	慶應義塾大学	29	26
	国際基督教大学	3	3
	城西大学	2	2
	上智大学	7	5
	芝浦工業大学	2	2
	順天堂大学	1	1
	成蹊大学	1	-
	専修大学	1	-
	中央大学	3	1
	東京医科大学	2	-
	東京電気大学	1	1
	東京理科大学	7	7
	東邦大学	1	-
	同志社大学	2	2
	日本医科大学	1	1
	日本大学	3	1
	法政大学	2	2
武蔵野美術大学	1	-	
明治大学	9	5	
早稲田大学	32	26	
立教大学	11	11	
合計	143	112	

4月13日現在

Campus News Rikkyo Niiza 第49号

編集：立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課

発行：立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25 ☎048-471-2323(代表)



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp/>

〈No.49〉

新施設竣工・新推薦入試制度導入



〈セントポールズ・ジム〉

〈プレイコート〉

〈プレイグラウンド〉

〈緑地〉

新体育館等の竣工を祝う

校長 西村 俊彦

立教新座中学校・高等学校は幸いにも広々としたキャンパス及び施設に恵まれ、体育活動が盛んでありますが、心身共に健全な生徒のさらなる育成のためには、よりいっそうの環境設備が必要と考えます。特に、野球場東側の木造体育館2棟は、永らく体操部、卓球部、剣道部が利用してまいりましたが、約50年の歳月を経て老朽化も進み、建て替える時期になっておりましたので、立教学院の総合発

展計画により、新体育館を建設することにいたしました。そして、この度建設されました新体育館（セントポールズ・ジム）は体育の授業はもとより、前述した各部の部活動に利用されます。

また、本校では2010年度より中学校の新学習指導要領を先取りして武道が必修になり、体育の授業に柔道、剣道を取り入れます。したがって、剣道の授業は新しい剣道場で行うこととなります。

さらに、サッカー場北側に人工芝のプレイグラウンド（フットサルコート）、寄宿寮（東寮）跡地に人工芝のプレイコート（テニスコート2面）を設置します。これにより、使用できるグラウンドも拡大し、本校の体育の授業や部活動がいっそう活発になることが期待されます。

立教新座中学校・高等学校は、21世紀の新たな将来構想にむかって、今後とも教育の充実と環境整備に努めてまいります。

立教学院 竣工祝福式

4月7日(水)、立教学院関係者、本校勤務員、そして各施設の工事担当会社の皆さんご列席のもと、セントポールズ・ジム、プレイグラウンド、プレイコート、そして自然観察などに使われる緑地の竣工祝福式が行われました。およそ4ヶ月にわたった工事が安全に行われたことを神に感謝すると共に、4月から授業やクラブ活動で生徒が活動する場となる各施設を清め、このような施設を与えられた恵みを感謝する式典です。

多くの列席者が初めて目にしたこととなった新しい施設。その予想以上の出来映えに驚きの声が上がりました。

この日、無事に引き渡しも終わり、本校の中学生・高校生の授業やクラブ活動、立教大学の学生によるサークル活動などでの本格的な使用を待つばかりとなりました。



(左上) 開扉式の様子
(左下) セントポールズ・ジム内での竣工祝福式
(右上) 各新施設を巡りお祈りを捧げる様子

剣道場 竣工感謝礼拝

4月10日(土)に剣道部による剣道場の竣工感謝礼拝がセントポールズ・ジムで行われ、新しい剣道場に多くの剣道部OB、保護者が集まりました。

まず、竣工にあたり感謝の礼拝が行われ、その後、中高生・OB含めて稽古を行いました。広くなった剣道場がいっぱ

いになるくらいのOBの方が稽古に参加し、中学生・高校生のために汗を流してくださいました。

また、剣道部OBから在校生への奨励の言葉をいただきました。「夢はすべてかなう。思い通りの人間になることはできる。人間は生まれ持つての資質・能力

には差がなく、後の努力によって結果の差が生じる。是非、中学生・高校生には、自分の夢の実現を叶えてほしい。」ということでした。

剣道部は、このOBの思い、そして、新しく作られた場所への思いである「夢」を叶えるため、新たな一歩を踏み出しました。

新剣道場 夢心館

4月10日、剣道場の竣工感謝礼拝が行われました。多くのOB、保護者、部員が集まり稽古をしました。新道場の名前は「夢心館」と言います。

夢心 (無心)
無念無想 剣道の境地 「無心」
立教新座の道場で鍛錬を積み「夢」を追求する。

この理念に基づき、私たち剣道部員は、稽古に励みたいと思います。この剣道場を造るにあたり、原先生はじめ多くの方々のおかげがありました。完成した素晴らしい道場に感謝したいと思います。

昨年末に取り壊された道場に、私は5年間お世話になりました。50年という伝統ある道場で、先輩たちと稽古をし、中学では県新人大会優勝、関東大会出場、高校では県新人大会入賞といった成績を残せたことは、とても良い記念になりました。取り壊された床板で、記念になるようストラップを作り、落成パーティーにて先輩方に配りました。新しい道場の床板は、最高級のアカマツを使用しています。このような自慢出来る道場で稽古をする私達はとても恵まれています。

そして、夢心館の歴史を作るスタートに立てたことに感謝し、関東大会・インターハイ出場に向け、日々練習に励みたいと思います。

礼に始まり礼に終わる剣道、とても素晴らしいものがあります。個人戦のよさ、団体戦のよさ、2つの感動があります。ぜひ、剣道の楽しさを1人でも多くの人に知って欲しいです。新入部員、募集中です。新しい歴史を作って行きましょう。

高校3年2組 加藤 翔



2011年度入試日程

〈高等学校〉

	一般入学試験	推薦入学試験
募集定員	男子 約60名	男子 約20名
願書受付	1月18日(火)～1月26日(水) 消印有効(郵送のみ)	1月5日(水)～1月8日(土) 必着(郵送のみ)
入学試験日	2月2日(水)	一次：書類審査 二次(面接)：1月22日(土)
一次合格発表		1月15日(土)
試験科目	筆記試験：数学・国語・英語	書類審査・面接(本人のみ)
合格発表	2月3日(木) 郵送・掲示・ホームページ	1月23日(日)
入学手続	2月8日(火)	1月28日(金)

〈中学校〉

	一般 第1回	帰国児童	一般 第2回
募集定員	約 100名	若干名	約 40名
出願	郵送	1月5日(水)～18日(火) 消印有効	
	窓口	なし	2月3日(木)
入学試験	1月25日(火)		2月4日(金)
合格発表	1月26日(水) 郵送・掲示・ホームページ		2月5日(土) 掲示・ホームページ
入学手続	1月28日(金)～2月3日(木)		2月5日(土)

2010年度入試データ

中学入試

	第1回	帰国児童	第2回	
志願者数	2026名	7名	247名	
受験者数	1972名	7名	198名	
合格者数	975名	3名	45名	
補欠者数	89名	—	31名	
補欠繰上数	52名	—	—	
合格最高点	257点	92点	196点	
合格最低点	166点	75点	161点	
補欠最低点	162点	—	152点	
教科平均点	国語 (満点：100点)	50.7点	30.1点	44.0点
	算数 (満点：100点)	53.6点	25.0点	40.2点
	理科 (満点：50点)	26.0点	—	30.2点
	社会 (満点：50点)	33.2点	—	27.2点

高校入試

募集人数	約80名
志願者数	1,292名
受験者数	1,264名
合格者数	628名
補欠者数	141名
補欠繰上数	98名

2010年度学校説明会日程

○中学校

- ① 9月26日(日)
1回目：9：30～10：30
2回目：11：30～12：30
- ② 11月21日(日)
1回目：9：30～10：30
2回目：11：30～12：30

○高校

- ① 9月26日(日)
13：30～14：30
- ② 11月21日(日)
13：30～14：30

※自家用車での来校はお断りします。

※参加申込は不要です。時間までに本校にお越し下さい。

※上履きは不要です。

高等学校新推薦入試制度の導入

2011年の高等学校入試に新しく推薦入試制度が加わりました。

本校の掲げる教育目標を達成するためには、学業面はもちろんのこと、その他の様々な能力や資質を備えた生徒が、特徴のある教育活動や豊富な教育施設のもと、思う存分に自分自身を磨くことが大切であると考えています。

このため、これまでの一般入試と地域指定校制推薦に加え、中学校3年間でさまざまな活動に取り組み、素晴らしい成果をあげている生徒諸君が、さらなる意欲を持って本校に入学できるように、新しい選抜試験を設けました。

学校生活の基本は言うまでもなく勉強です。そのことを十分理解しながら、本校でクラブ活動等、学校生活全般に一生懸命に取り組んでいくことができる生徒に是非入学してもらいたいと考えています。

また、この推薦入試制度を導入するにあたり、一般入試の募集人数が約80名から約60名に変更になります。試験日は昨年度と同じ日程になります。

推薦入学試験

立教新座高等学校

「キリスト教に基づく人間教育」を建学の理念とする本校では、「テーマを持って真理を探究する力」と「共に生きる力」を養うことを教育目標として掲げています。そして、日々の教育活動では、学業のみならず学校行事や部活動など学校生活全般においても、自らの行動に自覚と責任を持って主体的に取り組み、常に他者を尊重する姿勢を備えた生徒の育成を目指しています。

こうした精神をふまえ、2011年度より実施する推薦入学試験では、学業はもちろんのこと諸活動にも積極的に取り組み、さらなる向上を目指す意欲のある生徒を募集します。本校で自らが備え持つ能力や個性をさらに伸ばし、互いに高め合うことを強く望んでいる生徒諸君の出願を期待します。

出願資格

下記の条件①～⑥をすべて備えていること

- ①2011年3月中学卒業見込みの男子
- ②本校への進学を強く希望し、合格した場合必ず入学すること
- ③3年間の欠席日数の合計が21日以内の者
- ④中学3年2学期の9教科5段階評定の合計が36以上かつ2以下がない者
- ⑤中学時の課外活動・学外活動において顕著な活動をし、入学後は本校のいずれかの課外活動に所属し、その優れた実績をさらに伸ばす意志を持ち、学業との両立を図る意志のある者
- ⑥次のいずれかの条件を満たしていること
 - A. 体育活動において、都道府県レベル以上の大会でベスト8以上の成績を残した者
 - B. 文化活動において、都道府県レベル以上のコンクールで入賞またはそれに相当する成績を残した者

*ただし、団体の場合は正選手（メンバー）に限る。

体操場完成披露演技会

4月18日(日)、新しく竣工したセントポールズ・ジムの広い体操場が、生徒そして地域の体操教室の子どもたち、保護者でいっぱいになりました。

体操場の完成披露を記念して、2009年世界選手権大会の金メダリストである、内村航平選手、またこれから世界の舞台で活躍するであろう日本体育大学体操部の選手が体操演技を披露しにきてくださったのです。

演技の解説は、ロサンゼルス五輪金メダリストであり、現日本体育大学教授の具志堅幸司先生がしてくださいました。

体操演技が始まると、世界レベルの選手の迫力ある技が目の前で次々と披露されていきました。そして、技が決まる度に、二階まで埋め尽くされた観客のみなさんから大きな歓声があがりました。

そんな中、特に歓声が大きかったのは、やはり内村選手でした。内村選手は、4日前にフランスから帰国したばかりとのことで、フランスで出場した国際大会では鉄棒で優勝したそうです。世界一の演技を見せていただき、本校の体操場で練習する生徒、子どもたちにはすばらしい一日になりました。



僕が体験入部のために訪れた、旧第一体育館は驚くほど古かったです。まず、ホコリがすごく、クモの巣もたくさんあり、解体される直前は雨漏りもひどく、正直耐震強度が最も不安でした。でも、なんとなく建て替えられるのは近いという噂もあり、楽しみなところもありました。後に立教未来計画というのが知らされ、ついにあの古い体育館とはお別れということで、嬉しさ半分寂しさ半分でした。

さて、旧第一体育館が解体されている時、体操部は総合体育館のステージや大学の体育館で練習をしなければならず、ステージは狭くてあん馬しかできず、大学では前までとは異なり、準備・片付けがあり、場所や練習する器具も限られ、大変でした。特に、伊奈学園へ行ったときは慣れない場所で練習をし、学んだこともたくさんありましたが、とても大変でした。

4月1日、ついに新体育館「セントポールズ・ジム」で練習できるようになりました。そこに使われている「GYMNOVA社」の器具は、国際大会にも使われていたので、とても驚きました。それ以外にも、体操場の広さは劣るものの、器具が新しくなったほか、タンブリングトランポリンという長いトランポリンや、のびのびと練習できる12m四方の床などが増えて、使いやすくなり、とても嬉しかったです。

セントポールズ・ジムができ、おそらく筋トレや器具練習の効率が良くなるので、後輩に自らが持つ知識を教えつつ、中学最後の大会で、昨年度は団体4位でのほれなかった表彰台にのぼることができればいいと思います。

3年A組 高田和明

緑地整備

新しい緑地帯の再生に向けて

2010年4月、東寮跡地に緑地帯が整備されました。これまでフィールドの北側は、松林とそれに続く寮周辺とを合わせて、緑豊かな景観を示していました。いろいろな樹木と草、そして池があり、たくさんの生物の生息場所として自然教育の場に活用していました。

今回のキャンパス整備をきっかけに、残された樹木帯を生かしながら、新たな新座キャンパスの自然生態系として発展的に跡地の再生を目指しました。

新しい場所には、池を中心としながら湿地を設け、周辺には起伏のある地形を築き、豊かな生態系作りのもとに、ふさわしい樹木、草本を植栽しました。もちろん、これで完成ではなく、これから草本や水中動物などを移したり、昆虫などが侵入したりしながら、だんだんに生物が定着して武蔵野の自然として安定していくものと考えています。

近年、学校周辺の雑木林は伐採され、畑も減少の一途をたどり、自然に触れ合う場所はなくなってきています。それだけに、新座キャンパスの持つ価値は非常に高まってきていると思います。これまでの梅園、桜並木、イチョウ並木、バラ並木、ポプラ並木とキャンパスを彩る樹木帯などの自然に加え、今回の新しい緑地帯は、小さくても自然林や池、湿地を持ち、さまざまな生物を呼び込みながら常に生物と出会えるという、今までにない新しい空間であります。自然教育の場としてさらに充実し、誇るべきものができたと確信しています。

理科 新田光昭

